

今後議論する課題について

(第 19 回 ~ 第 25 回)

分野	項目	内容	実施回
安心・安全の確保	河川整備	鴨川の改修について 自然に配慮した整備について 憩いの場の整備について 中州除去の中間評価について	随時
	情報提供	防災情報の提供と啓発について	第 22 回
	森林の保水機能	鴨川流域の森林管理について	第 25 回
良好な河川環境の保全	鴨川環境保全区域	上流域の自然環境の保全について 指導状況について	第 19 回
	良好な景観形成	鴨川納涼床の審査基準適合状況について	第 20 回
	河川美化	ゴミ対策について	第 19 回
快適な利用の確保	禁止行為への対応	指導状況（巡視頻度等）について	第 20 回
	迷惑行為等の対応	利用者のルール設定や啓発について (自転車走行、犬のノーリード 等)	第 21 回
府民協働の推進	鴨川四季の日	ホームページ等による魅力発信について	第 19 回
	府民協働の推進	住民や学生による河川美化・マナー向上の取組について	第 21 回
その他	自然生態系	地区分けによる自然環境、生態系の保全について 鳥、ヌートリア等への餌やりについて	第 19 回 第 23 回
	魅力発信	国際化への対応について 鴨川に関連したイベントの開催について 沿川施設との融合	第 24 回

黒字は第 2 期からの継続、赤字は今回メンバーから提案されたもの

鴨川府民会議提案議題

議 題	分 類		内 容
	大分類	小分類	
鴨川下流域の河川整備の具体策について	治水対策	河川整備	河川整備のあり方について、現在進められている下流域の整備は自然に配慮されているとは思えない。
くつろぎの場としての河川整備	治水対策	河川整備	憩いの場としての設備の充実 a トイレ、水飲み場 b 子供の水遊び場
住民参加による環境保全活動の推進	府民協働	府民協働	鴨川美化をメインテーマとしたイベントの設置(四季毎に“鴨川週間”など)により、住民主導による清掃・パトロール・募金活動を実施する。
自然環境と自然生態を守る	河川環境	自然生態系 河川美化	上賀茂地区は、北山との自然調和、野鳥の保護地区として。又、植物園を中心とした、桜祭りなど、四季折々の花を楽しむことの出来る地区の拡大。川魚が泳ぐ川、透き通った水、野鳥が訪れる川として、自然環境と自然生態を守る。
事業計画の分析と投資効果について	府民協働	魅力発信	目に見えるものと、見えないもの、将来的にはどうなのか、公共性に富んでいるものか、その上で日本の都、世界の都として誇りの持てるものとする計画とすべきで、観光立国の日本の中心として、京都をアピール出来るものとし、初めて京都を訪れる方々に対して、期待を裏切らない、信頼性を作り、又、来たいというリピーターを増やすことについて考えたい。
賀茂川上流域の環境整備について	河川環境	上流域環境保全 樹木管理	柁野堰堤から上流はまだ多くの自然が残っておりまた市内からも近く、年間を通して市民の憩いの場として十分活用出来る環境である。しかし、雲ヶ畑までの道程の途中には産廃施設等廻りの環境にそぐわないものもある。この一帯を環境保護の観点から新たな規制を設け、整備し直し自然環境溢れる地域に育てて行く必要があるのではないだろうか。
鴨川公園内のゴミ箱全面廃止について	河川環境 河川利用	河川美化 迷惑行為	今の時代ゴミ箱が無ければその辺りにゴミを捨てていくなて事はあまり考えられない。現にゴミ箱が無いところは、ほとんどゴミは発生していない。この際全面廃止すべきである。また特にゴミの最大の発生原因である、バーベキューも同時に禁止しては…。
府立植物園と賀茂川の融合について	府民協働	府民協働	賀茂川と府立植物園は半木の道を挟んで隣接しているが、境界のフェンスによって分断されてしまっている。管理上色々な問題も有ると思いますが、折角隣接した好条件であるのだから、賀茂川と植物園を融合させた公園にして行くのは如何なものでしょうか。

賀茂神社サミットの開催提案について	府民協働	魅力発信	上賀茂神社や下鴨神社に由来する『賀茂神社』が東は関東から西は九州まで、数十社あると云われています。 これは昔賀茂一族が勢力を広げていた事が起因しているとの事。 鴨川の魅力発信(PR)のひとつとして、『全国賀茂神社サミットの開催』を本会議から提案し、葵祭の関連事業として育てて行くのも良いのでは…。
	河川利用	河川利用	河川には憩いの場として休息できる場所が少ない。河川付近にはいくつか公園があったりもするが、河川沿いにも公園のような集える場があっても良いのではないだろうか。また、屋根がついている休息所のようなものがあれば小雨の際の雨やどりにもなるし、日光があたりすぎる熱中症がひきおこされることの予防にもつながるのではと考える。
	治水対策	河川整備	河川整備として、自転車等が上げられる坂が少ない点が気になった。三条京阪辺りで上がれないのは何か理由があるのだろうか疑問に思った。バリアフリーやユニバーサルデザインの点から考えると、リヤカーやおしぐるまやベビーカーを使う人たちも多少都合が悪くなってはいないだろうか。
	河川環境 河川利用	河川美化 迷惑行為	鴨川沿いのごみばこの設置には賛成である。なかった場合に、おちているゴミをみつけてもひろえずに見過ごしてしまう2次の作用が引きおこされてしまうと思うからだ。また、ごみばこにフタをつけたりしても良いと思う。捨てたくなくごみばこにしたらいいのにと考えた。(海外の変わったごみばこの事例により) また、ごみへの認識は人それぞれなので、ゴミばこをおくかおかないかのみでは最終的(根本的)なゴミが減ったり整備されたりすることにはつながらないのではないかと、この点について議論したい。
	河川環境 府民協働	河川美化 府民協働	鴨川付近でのBBQやピクニックにおけるマナーや最低限守ってほしいことを学生団体へ伝えるための仕組みとして、学校側に呼びかけをしてもらったり、ピラなどが挙げられていたが、鴨川をそういう目的で利用する人達を集って集会を催しても良いのではないかと考えた。(マナー講座のようなもの)企業にだってCSR活動があるのだから、学生団体だって存続しつづける団体であるためにこういった活動も一緒に考えていく必要があるのではないかと考える。
	河川利用 府民協働	河川利用 魅力発信	鴨川出町柳の辺には浅いこともあって川で遊べるようなスペースがあるのに、その他の場所にはそういった所がなぜ少ないのかという点が疑問である。鴨川の水を少しひっぱって晴天であれば親子連れ等が交流のできる鴨川河川の実現ができるのではないだろうか。

	その他	その他	河川に灯りが少ないところがあるように感じている。五条、七条辺りになると四条・三条のようにぎわいもないので灯りがあまりないと安心して歩けないことを感じている。そういった所が他にもあるのではないかと考える。(意見というよりも思いになってしまった点もうしわけありません。)灯りにも変化をつけることで道へのみりよくも増すのではないかと。
鴨川散策をさらに楽しむための整備について	河川利用	河川利用	<p>多言語による標識の整備と絵(ロゴ)等を使った散策標識の設置を推進</p> <p>散策地図の設置 EX「ここから徒歩 分で 」</p> <p>音声による案内表示の設置 できれば多言語で。 ボタンを押すと音声が出てくるようなもの。</p> <p>論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川は散策や移動の道として、京都でしか味わえない魅力を小さな標識でも工夫したものを設置し、おもてなしの一環としたい。 ・国際観光都市・京都の鴨川から京都の魅力発信をしていきたい。
鴨川の魅力発信のため多言語によるホームページの発信をしてほしい。	その他	その他 魅力発信	<p>初回の府民会議から申し上げていますが、鴨川の魅力を多言語で発信するようにはどうでしょうか。ネットの発信については早急に検討をお願いしたい。</p> <p>四季折々の鴨川の写真をネットにアップするだけでも、魅力発信につながると思う。</p>